

2012~2013年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2012~2013年度 国際ロータリー・テーマ

奉仕を通じて平和を Peace through Service

国際ロータリー会長 田 中 作 次

国際ロータリー2720地区中津平成ロータリークラブ

会長 渡 邉 文 敏 幹事 辛 嶋 崇 会報担当 長 野 定 生 クラブ広報委員長 長 野 定 生

例会日/每週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2 F TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

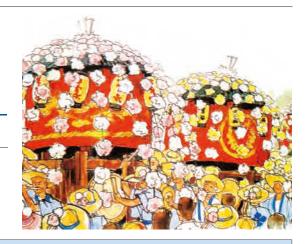
e-mail office@n-heisei.org

http://www.n-heisei.org/

第1115回例会 平成25年4月25日(木)

●本日の例会プログラム 交通安全について 中津警察署

◎次回例会プログラム 地区協議会報告



前回(1114回例会)の記録 平成25年4月18日(木)

■ゲスト

■ビジター

■出席報告

中津市長 新貝正勝氏

免除者数 1名対象者数 24名本日出席者 20名

会 員 数 25名

欠席者数 4名 出 席 率 **83.33**% ■1112回出席報告の修正

1112回欠席者5名メイクアップ2名

欠 席 者 3名

修正出席率 79.17%→ 87.50%

●メイクアップ

岡野(中津中央)、清源(中津中央)

●欠席者

矢頭、長野(定)、松本

◎ロータリーソング あすという日が

○会長の時間 会長 渡邉文敏

「大きい事はいい事だ」と歌ったのは1960年代のお菓子メーカーのCMでした。そして車は「いつかはクラウン」。モノから豊かさを実感できた時代の象徴でもありました。ところが今は、贅沢には全く興味のない、モノを欲しがらない若者が増えているそうです。例えば車は、「小さい事はいい事だ」とばかりに低燃費の大合唱。軽自動車のなんと多いことでしょう。豊かさを示す「モノ」として車を選ぶ人は少なくなりました。

昨年度、車名別国内新車販売台数はハイブリッド車 と軽自動車が上位10車種のうち8車種を占め、中でも 軽自動車は6車種 がランクインしま した。低燃費志向 の高まりがはっき りと表れていま す。

車に限りませ ん。たとえ経済的



に恵まれていたとしても、高級ブランド品は「無理して、背伸びしているみたいで格好悪い」と見向きもせずユニクロを愛用しています。

消費を牽引してきた20~30代が「モノ」を買うことに関心を失ったように見えます。

こうした若者は「低燃費」「草食消費」とも呼ばれ





まして、デフレ時代の新しい消費者として数を増やしていると言われています。右肩上がりの時代を知らない若者がデフレを生き抜く術でしょうか?かくも長いデフレが日本人の価値観をひっくり返したのかもしれません。

デフレ退治の救世主として日銀の黒田総裁がさっそ うと現れました。

国債を買う代わりに、今の2倍のお金を世の中に出回らせるとの事。株価も急上昇して期待が膨らみます。

上々のスタートは素直に祝いたいところですが「物価は上がるから、買い物は今のうち」とか「低金利だから車も家も買いなさい」という誘い文句も我々世代には魅惑的に聞こえますが、「低燃費」の若者たちに響くかどうか?新型クラウンもピンク色の車体を採用して、女性への浸透を図ろうとする時代です。

○幹事報告 幹事 辛嶋 崇

- ●例会変更 日出RC、大分キャピタルRC、宇佐RC
- ●週報受理 杵築RC、宇佐RC
- ●幹事報告
- ・ロータリアン誌4月号



◎委員会報告 土居会員

2720地区協議会が4月21日、日曜日、人吉で開催 されます。

参加者は長野(定)さん、黒瀬さん、仲本さんと私です。

前日土曜日より中津、中津中央と3クラブでバスで行きます。当日は中津駅より14時に出発しますので、集合をお願いします。



◎ゲスト卓話

「中津市の今について」

中津市 市長 新貝正勝氏

1. 中津市のPRビデオの鑑賞

2. 沖代平野について

中津市の沖代平野に広がる水田地帯は、「沖代地区条里跡」として周知遺跡に登録されている。沖代地区条里跡とは古代に行われた土地区画整理の跡で、中津市では8世紀前半には一辺109m四方の正方形の区画整理が行われた。条里跡では急速に宅地化が進んでいるが、現在でも正方形の地割が生きている。

3. 中津市民病院について

大分大学等、各大学での評価が高まっており、 大学病院並みの機材を揃えている。

地域医療再生による予算により総事業費を抑えられた。

4. 中山間地の農業問題について

中山間地の農業の実態について把握することに 努めた。

市として農業に介入する必要があると思うが、 農地法、農業委員会などにより介入できない。

補助金などでは農業の高齢者問題は解決しない ため、別な方法をとらなければいけない。

